

Compass

進級おめでとございます

～進路決定をする大切な一年のスタート～

3年生のみなさん、進級おめでとございます。中学最終学年に進級したみなさんは、これからの一年は「最後の」という言葉が毎日の学校生活でついてきます。最後の「体育大会」、最後の「テスト」、最後の「試合」・「大会」等々。1つ1つの行事や取り組み、部活動など悔いが残らないように全力で取り組みましょう。そして毎回の授業を大切に過ごしてください。昨年、卒業した先輩方からのメッセージでも、多くの先輩方が「授業を集中して受けることが大切だ」と書いていました。この一年を充実させるために、授業に集中して取り組み、時間を有効に活用することも大切です。これからは「集中すること」を意識して、何事にも前向きに全力で取り組みましょう。

そして、義務教育課程「最後の」中学3年生は、進路を決定する大切な一年です。これまで1、2年生でも進路学習を行い、自分の進路について漠然とは考えてきました。3年生では自分の思い描く進路に向けて、具体的に進路を決定していくこととなります。3年生の皆さんにとって、「進路のことを考えると不安になる」という人も多いと思います。進路をどうやって決めていくのか、自分の思うような進路になるのか、分からないことが多い今、不安に思うのは当然です。また、自分で進路を選択する自由があるということは、自分の選択に責任をもたなくてはなりません。選択することへの重圧も感じるでしょう。少しでもみなさんの力になれるように、3年生のみなさんに向けて「進路だより Compass (コンパス)」を不定期で発行します。進路関係の情報提供や進路決定までのスケジュール等をお伝えしていきます。今後の進路を考えるのに役立ててほしいと思います。

ところで、進路だよりのタイトル「Compass (コンパス)」は、日本語では「羅針盤」と言います。理科の授業で使ったことがあると思いますが、どこにいても北の方角を指し示す道具です。GPS機能や携帯電話の無い時代、旅人はコンパスの針が指す方角を基準にして自分の進む道を判断していました。この進路だよりを皆さんが進路を決める上での指針にして欲しいという願いを込めて付けました。進路を決定していく上で、正しい情報を知り、自ら考えることが大切になりますので、必ず読んでくださいね。奨学金関係などの重要な情報もお伝えしますので、保護者の方にも見せてください。

さて、みなさんは一年後の自分の姿を具体的に想像できますか？「中学校を卒業してからの進路をどうする？」と聞かれると、「高校に行く」となんとなく答えるかもしれませんが、進学先には様々な選択肢があります。多くの選択肢の中から自分の進路を決めます。進路を決めるのは先生や保護者ではなく、自分の進路は自分自身で決めます。自分が幸せに生きるにはどんな道を行っていくのかを考えないといけません。進学をする人は、「成績がこれぐらいだから、この高校に行こうかな。」というような決め方をするのではなく、まず、自分は将来何をしたいかを考えることから始めましょう。そして、それをするにはどんな知識が必要で、どんな資格がいるのか。そのためには、どんな学校に通えばいいかを調べましょう。

「自分はものづくりが好きだから工科高校に行きたい。」「英語が好きだから英語科に行きたい。」という人もいれば、自分が就きたい職業が何かまだわからないし、決められないという人もいるでしょう。「高校で将来をじっくり考えたいから普通科の高校へ進学する。」という人もいます。高校に行くことがゴールではなく、高校に行ってから何をしたいかを大切にしながら進路を決めて欲しいです。「行ける高校」ではなく、「行きたい高校」に進み、「思い描く将来」につながる道を選びましょう。

進路選択にあたって

「進路を考える」といっても、何も無いところから考えることはできません。そこで、みなさんが進路を選ぶにあたって、参考になる資料がどんなものがあるかを紹介しておきます。

・学校のホームページ（高校・専修学校等）

どんな学校なのかわかるだけでなく、体験入学などの情報も載っています。自分が気になる学校のHPをぜひ見てみましょう。

・パンフレット

多くの学校からパンフレットやポスターが送られてきます。それらは各クラスに配布したり、廊下にポスターを掲示したりします。それを見てどんな学校か調べましょう。自分でHPから資料請求して入手することもできます。

・体験入学・学校説明会（各自で申し込みをすることが多いです）

夏休みあたりから多くの学校が体験入学や、学校説明会を行います。学校に届いた案内は、教室後ろの進路ファイルに入れて紹介します。高校の授業内容や校内の雰囲気だけではなく、学校がどのようなところにあるのかを知ることが大切です。実際に学校に行くと、HPを見るだけではわからないことがあるので、体験入学、学校説明会などに積極的に参加しましょう。

・先輩の話を聞く

実際に高校へ通っている人の話は、身近な情報になるはずですが、部活動などで知っている先輩などに学校の話を書けば、具体的なことがわかるでしょう。ただし、その先輩の意見は多くの在校生の一人のもので、全てではありません。参考にとどめましょう。

学校説明会や体験会は事前エントリーが必要な場合が多いです。説明会などは夏休み前後から多く行われます。まずは、家で保護者の方と一緒に学校のHPを見てみましょう。

この一年で心に留めておいて欲しいことは、周りの人達がみなさんをサポートしてくれるということです。決して悩みを一人で抱え込まないでください。この一年は今まで以上に悩むこともあると思います。そんな時は、保護者の方や先生方、友達など身近にいる人に相談してアドバイスをもらいましょう。話すだけでも心が軽くなります。みんなでこの一年を乗り越え、新しい道に進みましょう。春休みに受験勉強をスタートできましたか？自主的に考えて学習できた人は、それを今後も継続しましょう。学校がスタートすれば忙しくて時間が取りにくくなりますが、作業の効率を上げたり、テレビやネットを見る時間を削る等の工夫をして、受験勉強を継続していきましょう。

春休みに受験勉強をスタートできなかった人は、まずはこの1学期の間に、生活スタイルの中に勉強する時間を組み込んでください。受験勉強は「自主的な学習」です。自分に必要な学習内容を自分で考えて、自ら勉強することが必要です。この力は勉強のみならず、今後の人生においても必要な力となります。しっかりと自分の生活スタイルを見直し、勉強計画を立てましょう。ぜひ「勉強習慣」を身に付けてくださいね。受験勉強はまず1・2年生の復習をすることから始めます。難しく考えすぎずに、学校のワークなどを使って復習を始めましょう。

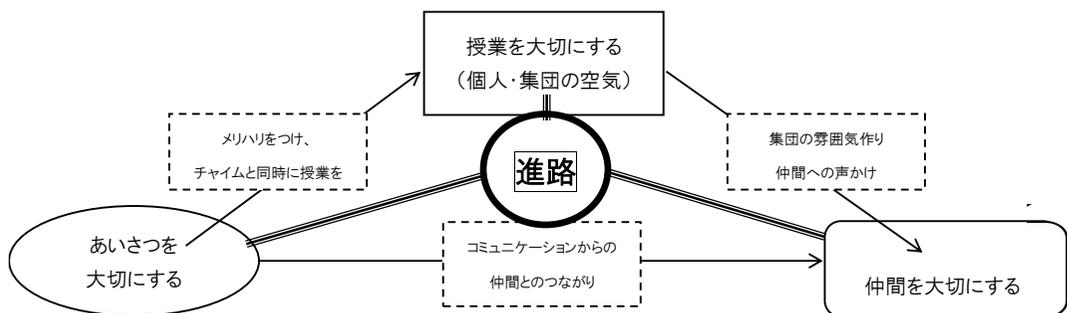
受験は団体戦！

『受験は団体戦』という言葉を書いたことがあると思います。今回はこの言葉の意味について考えたいと思います。人間は周囲に合わせよう、馴染もうとする習性があります。そのため、自分だけが周りとは違う状況では落ち着かなくなり居心地の悪さを感じます。間違っているわけではないのに、「周りとは違う」という状況に人は違和感を覚えます。これが行き過ぎると「同調圧力」となり、少数派の個性や意見を認めないような良くない影響を与える一面もあります。

では、この「周囲に合わせようとする習性」を受験勉強に当てはめて考えてみましょう。クラスの大多数がおしゃべりしている中、自分だけ勉強に集中するのは難しいと思いませんか？逆に、みんなが集中して勉強している中で、自分だけおしゃべりするの気が引けますよね。

勉強に集中している人が多数派になり、周囲が頑張っている姿を見ると、自分も勉強を頑張ろうという気持ちになります。「やる気を共有」することで、勉強に対して気持ちが前向きになれないときも乗り越えられます。クラス全員で“勉強に集中することが当たり前”という雰囲気を作ってください。一人ひとりが自分の進路を考え、決定していくためには、クラス・学年・学校が安心して生活できる場所であり、安心して学習に取り組める集団であることが大切です。

“あいさつ”から仲間とのつながりを強めて、休み時間と授業の切り替えを行うことができる。“仲間”を大切にすることで、より安心して生活できる集団を学年で支えることにつながる。“授業”を大切にすることで、全員が安心して学習に取り組める集団を支えることにつながる。“あいさつ”“仲間”“授業”という、あたりまえを卒業まで大切にすることで、集団として成長することができ、充実した学校生活を送り、学習に励むことができ、最終的に一人ひとりの進路を支えることにつながります。“あいさつ”“仲間”“授業”を中心として、全員の“あたりまえ”で、一人ひとりの進路を支えていくことを目標にしていきたいと思います。最後まで「一緒に勉強を頑張る仲間」であってほしいです。



保護者の皆様へ

ご進級おめでとうございます。卒業後の進路をどうするか悩まれておられる保護者の方も多いと思います。何かありましたら、担任をはじめ学年全体で対応いたしますので、ご相談ください。

さて、今年度生徒たちは、自分で進路を決めていくという人生で初めての経験をします。様々な面で悩み、心が揺れることもあると思います。ご家庭での保護者の方のサポートが必要となります。お子様の様子を見ていただき、対話を大切にしながら、親子で進路選択を進めていただければ幸いです。出来る限りのサポートをさせていただきます。1年間、どうぞよろしく願いいたします。

進路指導主事 今井 賢一